

令和8年度 県立病院の経営状況について

令和8年9月 医療局

令和 8 年度事業運営方針

厳しい経営環境のもと、診療報酬改定の効果等を最大限に取り込みつつ、DXによる労働生産性向上の取組や将来に向けた投資を着実に行之、県民が県立病院に求める役割を着実に果たしていく

《 経営計画に掲げる 5 つの基本方向ごとの主な重点取組事項 》

1

地域の医療需要の動向を踏まえた県立病院の機能分化と連携強化

- 県民に県内で高度・専門医療を安定的に提供できる体制を確保
- 民間医療機関が立地しにくい地域では、県立病院が身近な医療を継続して提供 等

2

良質な医療を提供できる環境の整備

- 病院の施設・設備の計画的な更新、高度医療器械の重点整備
- オンライン診療の拡充、AI・RPA等による業務手法の見直し、DXによる医療現場の労働生産性の向上 等

3

職員の確保、育成と魅力ある勤務環境の整備

- 中堅層医師の確保、医師の地域・診療科偏在の解消に向けた関係機関との連携と取組の推進
- 薬剤師等、不足する職員確保に向けた取組を進めながら、少ない人員であっても良質な医療を提供できるための環境を整備
- 魅力ある勤務環境の整備に向けた働き方改革や公舎整備 等

4

職員の適正配置

- 各病院の機能分化と連携強化の方向性を踏まえた職員の重点配置
- 病床規模等を踏まえた職員の適正配置
- 事務・業務の本庁集約の推進による病院の業務負担を軽減 等

5

持続可能な経営基盤の確保

- 診療報酬改定効果の確実な取込みや新規・上位施設基準の取得による診療単価の向上
- 新入院患者の受入強化、DPC分析によるクリニカルパスの見直し等、費用削減の取組の徹底
- 給与費の適正化、薬品・診療材料の廉価購入等、費用削減の取組の徹底
- 不採算医療に係る地方財政措置の拡充、診療報酬改定の影響等を踏まえた国への要望 等

令和8年度における主なDXを活用した取組

1 オンライン診療

派遣大学や市町村と連携しオンライン診療の取組を拡充

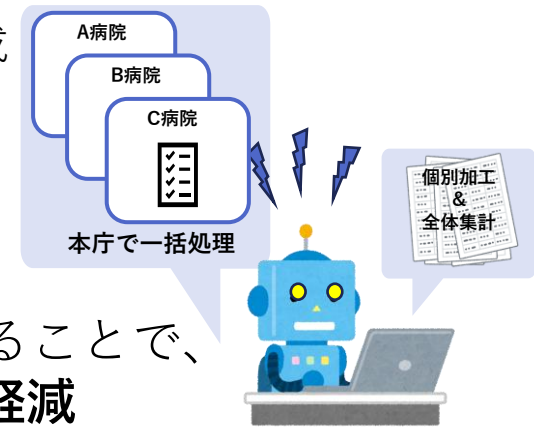
- 岩手医大と県立病院をオンラインで結び、岩手医大の専門医師による診察を県立病院で実施
- 住田町が実施する訪問看護と連携し、患者宅と住田診療センターを結んだオンライン診療を試行



2 AI×RPA

生成AIの導入、RPA活用拡大により、業務の効率化を推進

- 生成AIを活用した業務支援機能の導入による業務の効率化
 - ・ カルテから退院サマリ自動作成
 - ・ 紹介状読取転記
 - ・ 議事録作成
- 定型業務を集約し、作業を生成AI×RPAで一括処理することで、業務の標準化・業務負担を軽減



3 ロボット等導入による業務の効率化

調剤監査システムの導入（薬剤部門）

- 調剤過誤防止や薬品鑑別等支援機能を強化し、医療の質向上と業務を効率化



食器洗浄機の導入（栄養部門）

- 食器洗浄業務の省人化、自動化し業務を効率化、委託費の削減
⇒ R8中央病院 以降、順次展開を予定

4 院内スマホ

PHSから院内スマートフォンへ段階的に切替え

- PHSからスマートフォンへの切替え(多機能化)による業務効率化
 - ・ 院内通話、ナースコール応答、カメラ、電子カルテ連携、チャットなど
 - ・ 他病院等の状況を参考にモデル病院に導入
⇒ R8中部病院 以降、順次展開を予定

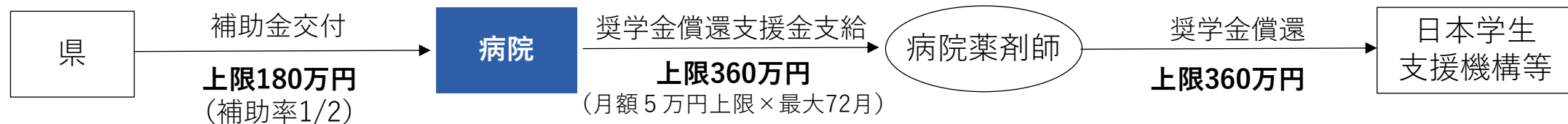


医療局薬剤師奨学金返還資金貸付条例の制定について

【制定の趣旨】 県立病院等において薬剤師の業務に従事する者に対して医療局薬剤師奨学金返還資金を貸し付けることにより、これらの者の奨学金の返還を支援し、**県立病院等の薬剤師の確保**を図ろうとするもの

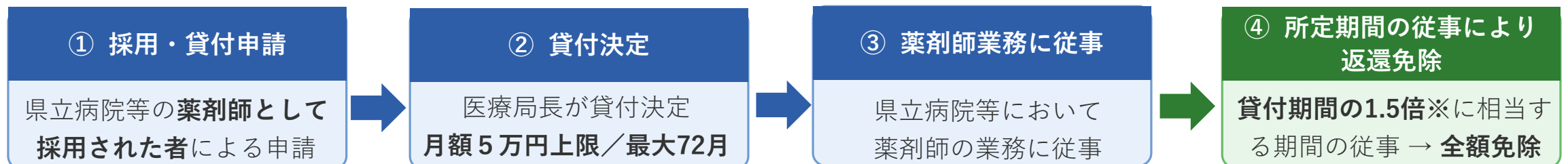
1 病院薬剤師の奨学金償還支援制度の創設（県保健福祉部健康国保課）

県では、薬剤師の県内の病院への就職及び定着を促進するため、奨学金の貸与を受けた薬剤師を新たに雇用した病院に補助金を交付し、病院薬剤師の奨学金償還を支援する制度を創設（令和8年度当初予算）

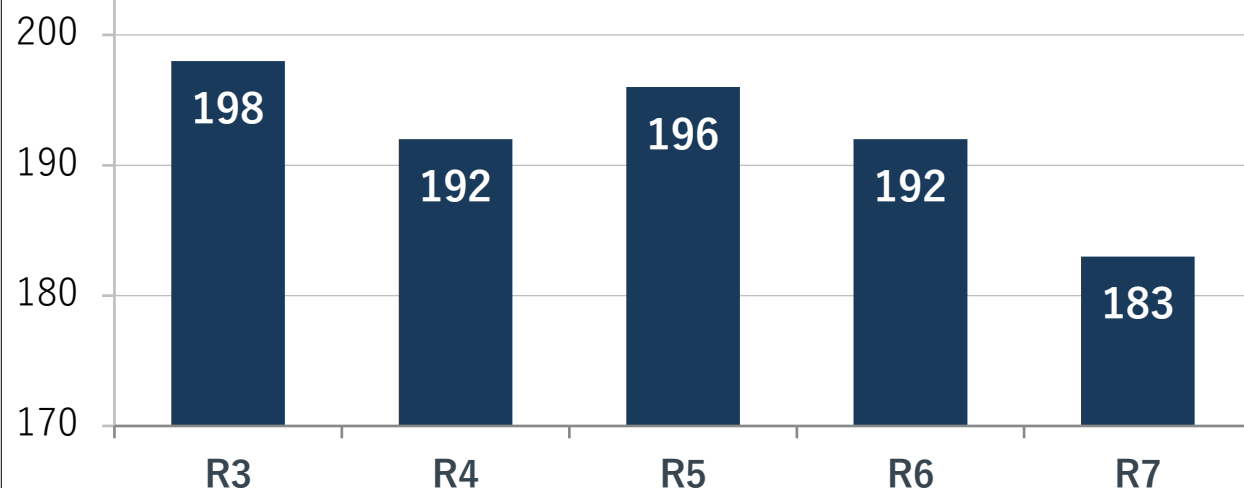


2 医療局薬剤師奨学金返還資金貸付制度の概要

本年5月に補助金交付要綱が公表されたことを受け、医療局においては、医師奨学資金と同様に、貸付条例を制定したうえで本事業を実施



【参考】 県立病院の薬剤師数（正規：人）



※ 6年間貸付けした場合、返還の免除に必要な業務従事期間は9年間

返還免除は債権放棄として、地方自治法第96条第1項により議会の議決を要するが、条例に返還免除規定を設けることで、個別案件ごとの議決は不要

医療局薬剤師奨学金返還資金貸付条例の制定について

岩手県全体としての募集の状況は本紙のとおり ⇒ **医療局としては、令和8年度は5名募集中**

岩手で、薬剤師としての未来を。

岩手県で
病院薬剤師を
目指すあなたを
応援します！

岩手県病院薬剤師 奨学金償還支援 対象者を募集します

支援内容

奨学金の償還額を
年間最大 **60万円** 支援
最長 **6年間** で **360万円** まで
※支援額・支援期間は要件により異なります

募集期間

令和8年 **8月10日** から 令和8年 **9月30日** まで

申請方法・詳細

申請方法・詳細は
岩手県公式ホームページから

岩手県 病院薬剤師奨学金償還支援 🔍 検索

お問い合わせ先
019-629-5467 | yakumu@pref.iwate.jp

岩手県

いわてで、
地域医療の未来を
支えませんか？

岩手県 おでんせ、いわて！
IWATE PREFECTURE

県政情報 | 暮らし・環境 | 産業・雇用 | 県土づくり | 教育・文化

現在の位置: トップページ > 暮らし・環境 > 医療 > 薬務 > 薬剤師確保対策 > 病院薬剤師奨学金償還支援事業費補助金の対象となる認定者の募集について

病院薬剤師奨学金償還支援事業費補助金の対象 となる認定者の募集について

ページ番号1098812 更新日 令和8年6月17日

印刷 大きな文字で印刷

事業の概要

岩手県では、薬剤師の県内の病院への就職及び定着を促進するため、奨学金の貸与を受けた薬剤師を新たに雇用した病院に補助金を交付し、病院薬剤師の奨学金償還を支援する制度を実施します。

奨学金償還支援の流れ

```
graph LR
    A[病院  
(対象施設)] -- "※認定前の採用試験等の  
受験・内定も可。  
③採用試験等" --> B((学生・  
既卒者))
    B -- "④採用内定・支援対象者の認定" --> A
    B -- "⑤就職・プログラム受講" --> A
    A -- "⑥支援金等支給" --> B
    B -- "①対象者認定申請" --> C[県庁]
    C -- "②対象者認定" --> B
```

対象期間及び支援金額

対象施設に就業した場合、最大6年間で、**最大360万円**の支援が受けられます。
(奨学金償還額及び病院の奨学金償還支援制度等により支援される金額は異なります。)

対象施設への就業期間

支援期間の1.5倍の期間、対象施設に就業していただくことが条件になります。

診療報酬改定に対する県立病院の対応について

- 物価、賃金上昇への対応、急性期病院の新たな入院料の創設等、急性期に手厚い改定内容
- 診療報酬改定の効果を最大限取り込み、収益強化、費用削減の取組を推進していく
- 一方で、改定効果を全て取り込んでも収支均衡には至らず、地方財政措置の拡充等を国に求めている

《改定率・ポイント》

項目	改定率（％）			R8入院 単価増減
	平均	R8	R9	
賃上げ分	+ 1.70	+ 1.23	+ 2.18	+ 1,554円
物価対応分	+ 0.76	+ 0.55	+ 0.97	ベースアップ評価料以外を一括して整理 + 1,578円
食費・光熱水費分	+ 0.09	+ 0.09	+ 0.09	
緊急対応分（R6改定以降の経営環境悪化等）	+ 0.44	+ 0.44	+ 0.44	
適正化・効率化分	▲ 0.15	▲ 0.15	▲ 0.15	
その他	+ 0.25	+ 0.25	+ 0.25	
全体	+ 3.09	+ 2.41	+ 3.77	+ 3,132円

- 物価、賃金上昇への対応
 - ・R8以降の物価上昇に対応すべく **物価対応料**が新設
 - ・賃上げの原資となる **ベア評価料**も **金額、算定職種が拡充**
- 急性期病院機能に着目した新たな入院料の新設
 - ・急性期入院料の上位区分として **急性期病院一般入院料(A・B)**が新設
 - ・急性期拠点機能を救急の受入実績等で評価
(例：急性期Aは救急2,000件以上・全麻1,200件以上など)
- 地域包括医療病棟などの包括期入院医療の拡充
 - ・入院料が細分化、**手術を伴う入院等の評価が拡充**
- 救急医療への適切な評価 **救急外来医学管理料**の新設
- 医師の診療科偏在対策のための加算が新設
 - ・**地域医療体制確保加算** 消化器外科医等への手当支給を評価
 - ・**外科医療確保特別加算** 高度手術を行う医師への手当支給を評価

《主な改定項目と県立病院の対応》

主な改定項目	県立病院の対応	増収見込額
物価、賃金上昇への対応	物価・賃上げ対応の報酬（ベースアップ評価料、物価対応料）を全病院で算定	+ 10.6億
急性期病院の新たな入院料	急性期A：中央、中部、胆沢、磐井 急性期B：宮古	+ 17.8億
地域包括医療病棟の拡充	千厩病院で算定していた地域包括医療病棟を釜石病院にも拡充	
救急医療への適切な評価	救急患者を積極的に受け入れる体制を評価した診療報酬（救急外来医学管理料）を全基幹病院で取得	+ 4.0億
医師の診療科偏在対策	①地域医療体制確保加算 2 消外、心外、小児外科、循内が対象 加算取得は沿線 4 病院。独自に全病院の該当診療科医師に手当支給 ②外科医療確保特別加算 加算取得は長時間・高難度手術を年200例以上実施している中央・中部。独自に全病院の該当手術実施医師に手当支給	+ 0.9億

その他 + 7.0億

患者増を加え、
入院収益で49.3億円

県立病院全体で + 40.3億円の増収を見込む

令和 8 年 7 月末までの経営状況について

入院患者の増加（前年同月比8,269人増）や**6月からの診療報酬改定の効果の取込み**による**入院・外来単価の上昇**で、**医業収益は、対前年度比で14.8億の増収**

また、R7給与改定の影響による給与費の増、物価高騰の影響による材料費の増があるものの、材料費や経費の効率的な執行に努め、**医業費用の増加を6.9億円に留める**ことができており、7月末時点で**医業損益は7.9億円改善**

(1) 患者数

	R 8.7 末実績	R 7.7 末実績	増 減
入 院	371,202人	362,933人	8,269人
外 来	533,978人	553,993人	▲20,015人

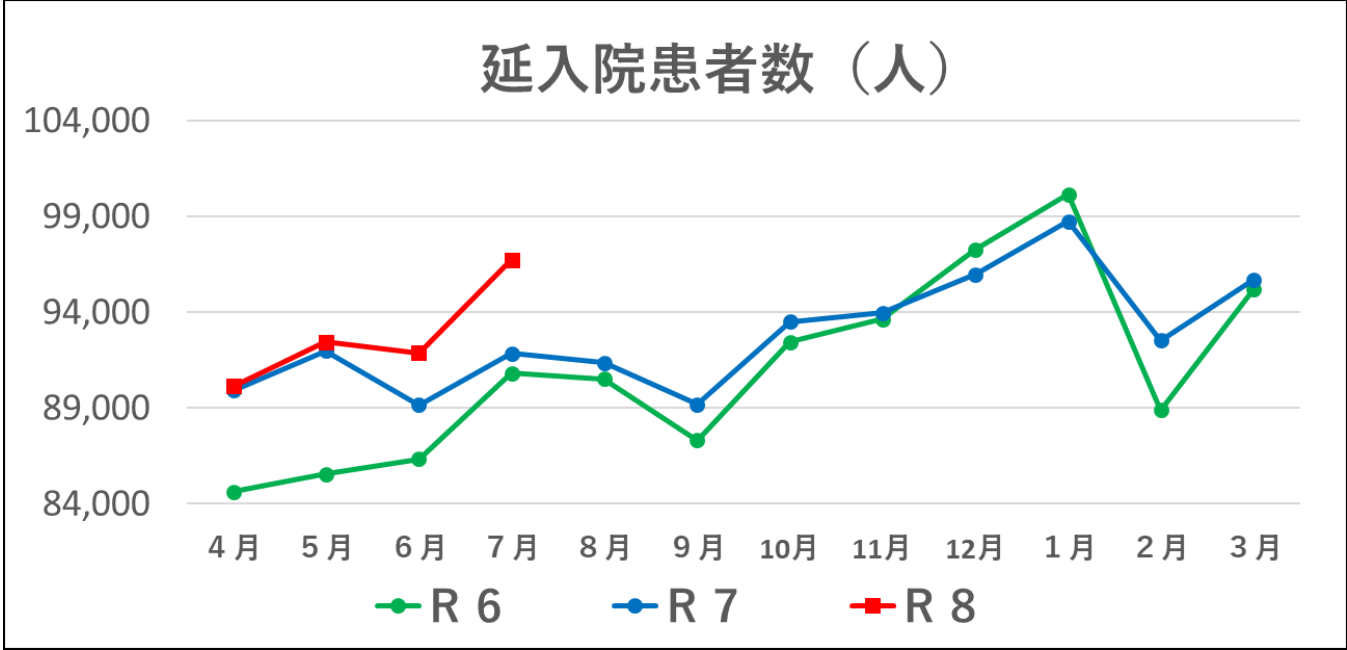
(3) 収支状況

科 目	R 8.7 末実績	R 7.7 末実績	対前年度増減	
	億円	億円	億円	増減率：%
医業収益【A】	330.1	315.4	14.8	4.7
入院収益	222.2	208.0	14.2	6.8
外来収益	99.8	99.2	0.6	0.6
その他	8.1	8.1	0.0	0.1
医業外収益	74.6	74.9	▲0.3	▲0.4
収益合計【B】	404.7	390.3	14.5	3.7
医業費用【C】	350.4	343.6	6.9	2.0
うち給与費	184.9	180.1	4.8	2.7
材料費	100.9	97.0	3.9	4.1
経費	43.7	45.5	▲1.8	▲3.9
医業外費用	1.9	2.0	▲0.1	▲3.9
費用合計【D】	352.4	345.6	6.8	2.0
経常損益【B－D】	52.4	44.7	7.7	17.1
医業損益【A－C】	▲20.3	▲28.2	7.9	28.0

(2) 入院・外来単価

区 分	入 院	外 来
R8.7末実績（円）	59,859	18,690
R7.7末実績（円）	57,316	17,910
比較（円）	2,543	780
増減	4.4%	4.4%

【参考】



【今後の取組】

引き続き、救急や地域の医療機関との連携による紹介患者の受入等、県立病院に求められるニーズに対応しながら患者確保を図るとともに、上位・新規施設基準の取得等による診療単価の向上、後発医薬品の使用促進やDXの推進による業務の見直し等、経営改善を進めていく。